

単位制で叶える自分らしさ！ 学ぶための自由がここにある！

# 福岡県立大牟田北高等学校 単位制 [フレックス型] 令和7年度 グランドデザイン

校 是

## 目指せ 自己ベスト！

～人は自分が思う以上に、輝けると思う。～

校 訓

せいじつ 誠実 ・ さんべん 勤勉 ・ きょうどう 協同

### 単位制[フレックス型]教育目標

変化の激しい社会及び環境に必要な「生きる力」と「豊かな心」を育むことで、自分の夢を持ち、それを実現する確かな学力と学び続ける意欲を備え、主体的に地域や社会に関わり、その発展に寄与する人材を育成する。

### 教育目標達成のための基本方針

- (1) 単位制高等学校の特徴を活かし、生徒一人ひとりの個性を尊重する教育を展開する。
- (2) 単位制の趣旨が十分活かされるような教育課程の充実に努める。
- (3) 常に時代の変化に対応して、教育課程の編成の工夫・改善に努める。
- (4) 「社会に開かれた教育課程」の理念の下、社会との連携及び協働を通して、生徒一人ひとりの人生観や職業観を育むキャリア教育の充実に努める。
- (5) 組織的な修学支援体制を充実させる。
- (6) 多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして他者と協働する力を推進する。
- (7) 生徒の自立心や自律性を高め、自己管理能力を育む積極的生徒指導に努める。

### スクール・ミッション（本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像）

## 多様な生徒が個別最適な学びを見つけ、自己ベストを実現できる、地区唯一の定時制単位制高校

生徒一人一人のニーズに応じて個別最適な学びが実現できるフレックス型単位制高校の強みを生かした教育活動を通じて、自己管理能力と生涯を通して学び続ける力を身に付け、豊かな人間性を備えた人材を育成します。

### 目指す教師像

- 「教えてくれる先生」から「生徒と共に考える先生」としてのチーム
- 教科の知識や見方・考え方を土台として、常に生徒に対して「どうありたいのか」を問い、生徒自らで納得解にたどり着くような対話を重視した教育の実践
- 既存概念・これまでの経験にとらわれず、研鑽に励む教師集団

### 単位制高校【フレックス型】の特色（売り）

- ① 生徒の興味・関心に応じて、学習内容や学校で学ぶ時間帯を選択できる。
- ② 進路目標に特化した学習ができる。
- ③ スポーツや芸術等の技能を伸ばす活動との両立ができ、時間的・精神的にゆとりをもって、個性を伸ばしながら生活ができる。
- ④ 九州看護福祉大学や九州大谷短期大学等の連携協定を結んでいる大学で、大学生とともに同じ授業を学び、それを本校の卒業単位として認める。

### 令和7年度学校経営方針・重点目標

## 生徒を主語にした教育活動全体を通して、生徒の「自己管理能力」「学びに向かう力」の育成を目指す。

※本校が目指す自己管理能力  
「やるべきことをやり切る力」「時間管理・体調管理・スケジュール管理ができる力」「周りや案な方に流されない力」

- (1) 授業改善・学習指導改善の推進  
ア 「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実に合わせた授業改善力を入れる。  
イ 授業を中心とし、Google Workspace for Educationやスタディサプリ等の活用、高大等連携事業、個別指導、特別講座等を通して、「個別最適な学び」を充実させる。  
ウ Google Workspace for Educationや一人一台端末（chromebook）、電子掲示板、統合型校務支援システム生徒用端末の活用を通して、生徒への指導支援、連絡や事務処理等の効率化を図る。  
エ 教職員の「観点別評価」「ガイダンス機能」に関する資質向上を目指す。
- (2) 教職員の同僚性の向上、組織力の強化と人材育成  
ア 年次・教科間で「報告・連絡・相談」を密にし、組織的・計画的に教育活動を実施する。また、起業・合議等を通して、情報共有や協働を密に行う。さらに、実施後の評価を通して、教育活動の質の向上を図るとともに、事跡を確実に残す。  
イ 校務運営委員会等の活性化を図る。短期・中期・長期的な視点で教育課題の解決を図る。  
ロ 職員研修において、教職員同士の対話的・協働的な学びを充実させる。  
ハ 「福岡県教育者育成目標」に基づき、個や学校の課題に応じた研修受講を奨励する。
- (3) 積極的生徒指導と修学支援の推進  
ア いじめの早期発見・早期対応に努め、「いじめがなく、安全で安心な学校づくり」に力を入れる。  
イ 学校生活を送る上での「8つのチェック事項」を活用し、学校生活の振り返りを適宜実施する。  
ウ 道徳教育の視点を踏まえ、公共マナーや集団生活上のルールに則った自律的な生活習慣を確立させる。（学校生活を送る上でのマナーの徹底）  
エ 修学状況が良好ではない生徒、生活上の困り感を抱えている生徒に対しては、早期・組織的な対応を行う。専門機関（SC・SSW・訪問相談員・医療機関・福祉機関等）と連携し、組織的な修学支援・教育相談・特別支援教育を充実させる。
- (4) 「人間関係形成能力・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」の育成に力を入れたキャリア教育の実践  
ア 教育活動全体を通して、組織的・計画的なキャリア教育を実施する。  
イ 「SST（ソーシャルスキルトレーニング）」の推進等を通して、生徒のコミュニケーションスキルの向上を目指し、進学・就労・本校での修学継続に向けた力を育成する。  
ウ 総合的な探究の時間（「北高自己ベスト探究」）を通して、次の4つの力を育成する。  
「自己理解・自己管理能力・キャリアプランニング能力（基礎的・汎用的能力）」  
「自分なりの考えを持つ力（思考力・課題発見能力）」  
「他者に伝える力（表現力）」  
「学び合う力（協働しようとする態度、人間関係形成能力・社会形成能力）」  
エ 特別活動、行政・地域事業との連携及び協力、ボランティア活動を通して、主体的・社会参加への意欲、非認知能力を高める。
- (5) 「社会に開かれた教育課程」の理念の下、地域・保護者等・関係機関等と連携・協働した教育の実践  
ア 地域人材を活用した教育活動及び地域貢献活動を推進する。  
イ 各教育機関や地域に対して、単位制【フレックス型】の特色や強みを積極的に情報発信する。  
ウ 高大等連携事業等を通して、他の高等教育機関と連携した学びの充実に努める。  
※上記の「関係機関」には、学校評議員会・学校関係者評議員会や「コンソーシアム構想」を含む。

「鍛ほめ福岡メソッド」の実践

連携・協力  
情報意見交換

信頼関係の構築

広報 情報発信

- 保護者等
- 同窓会
- 高等学校
- 中学校
- 小学校
- 地域人材
- 行政機関
- 大学・短大・専門学校
- 企業
- SC
- SSW
- 訪問相談員
- 関係機関

アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単位制【フレックス型】での学びに対する目的意識が明確であり、主体的に学ぶ意欲を有する生徒</li> <li>○ 自己管理能力の向上に向けて努力ができる生徒</li> <li>○ 規範意識が身に付いており、他者を尊重しながら、お互いの個性を認めることができる生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一人の学習ニーズに対応して選択できる教科・科目の開設</li> <li>○ 興味関心・学習意欲に応じて、大学等の授業を受講できる高大等連携事業</li> <li>○ ICT等を活用した、個別最適化された学習活動への支援</li> <li>○ 生徒が主体的に問いを立て、「生き方」「在り方」について学ぶ総合的な探究の時間（北高自己ベスト探究）の実施</li> <li>○ 教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のより良い人間関係を育むホームルーム活動</li> <li>○ 個性の伸長を図り、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けることができるキャリア教育の実施</li> <li>○ 専門スタッフ（SC・SSW等）と連携した、組織的な教育相談及び修学支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己管理能力</li> <li>○ 生涯にわたって意欲的に学び続けようとする力</li> <li>○ 習得した知識及び技能を用いて、課題を見い出し、主体的・協働的に解決に取り組む力</li> <li>○ 多様性を認め、他者との関わりを通して、地域社会の発展に寄与する力</li> </ul>